

# 令和4年度 学校評価報告書

学校番号(高1) 長崎市立長崎商業高等学校

## 1 教育目標

人格の完成をめざし、教養豊かで有為な産業人を育成する。

## 2 学校経営方針

- (1) 真理と平和を愛する態度を育み、友愛互助の精神を涵養する。
- (2) よりよき社会人として、責任を重んじ知性と教養を高める気風を養う。
- (3) 産業人として基本的な資質の向上に努めるとともに、社会の一員としてその発展に貢献する態度を養成する。
- (4) 国際的視野に立つ調和のとれた社会性と心豊かな人間性の育成に努める。

## 3 重点目標

- (1) 学科改編に向けて、大学・専門学校・行政・一般企業などと連携を深め、周知徹底を図る。
- (2) グローバル人材の育成を目指し、長商スマイルを意識した一流のあいさつを実践する。
- (3) 情報活用能力を高め、校務の効率化と情報セキュリティ対策の推進を図る。
- (4) 学校・保護者・同窓会・地域が一体となった教育活動の展開と広報活動の充実を図る。
- (5) 服務規律の確保と働きやすい職場環境づくりの推進を図り、教職員の同僚性を高める。

## 4 自己評価

領域	項目	質問内容	アンケート結果			分析及び改善策
			(肯定的割合・%)			
			児童生徒	保護者	教職員	
学校経営	教育目標	教育目標を達成している	93	84	学校評価(中間・最終)を通して、教育目標の確認や教科・分掌・学年目標のチェックを行っている。学校評議員会での意見を参考に、職員会議等で目標達成への努力を求めた。	
	学校の雰囲気	明るく楽しい雰囲気である	98	91		
	組織運営	校務分掌は責任体制が明確で、適切に機能している				
	業務の改善	校務の縮減・効率化等、業務の改善を推進している				
心の教育	生活・生徒指導	ルールやマナーを身に付けている	92	95	各定期考査時に容儀指導や規範意識の向上を目指したマナー指導を実施している。アンケートを実施して生徒の実態を把握し、必要に応じて関係機関と連携しながら親身に対応している。ウクライナ国花の「ひまわり」で生徒玄関を彩り、平和を願う気持ちを共有した。教育活動を極力止めないように、細心の感染防止対策を講じて行事を実施した。生徒の自主性を育み、充実した学校生活づくりに努めた。	
		挨拶をよくしている	97	91		
		教職員は悩みや相談に親身に対応している	96	85		
	いじめ防止対策	学校はいじめ防止のための対策をとっている	98	92		
	人権教育	生命や人権を尊重しようとする心が育っている	99	96		
	平和教育	平和の大切さを感じ、その思いを発信しようとしている	92	96		
	特別支援教育	学校は教育的ニーズに応じた教育を行っている		83		
確かな学力	特色ある学校づくり	伝統や校風、地域の実態に即した教育を行っている	92	93	卒業生全商検定3種目以上1級取得者数が9年連続で本県1位を達成した。1年生で地域の多様な職種の事業者から学ぶ行事や2年生で地域を歩き再発見する行事、3年生で地域の歴史を学び、卓袱料理を体験する行事を実施した。	
	学習指導・教育課程	わかりやすい授業を行っている	90	70		
		家庭学習の習慣が身に付いている	89	63		
	キャリア教育	将来の自立に向けて適切に指導している	97	89		
		長崎のまちや自分の住んでいる地域が好きである	97			

健やかな体	保健・衛生	衛生管理に努め、健康に関する教育を行っている	99	94	96	本校では、K(換気)・K(間隔)・T(手洗い)・M(マスク・黙食)を掲げて感染拡大防止に努め、体育祭やクラスマッチなど、昨年度よりも実施計画を緩和し、生徒の意欲的な活動が見られた。 部活動では女子ソフトボール部がインターハイ3位に入賞した。
	体力向上	早寝・早起き・朝ごはん(基本的な生活習慣)が身に付いている	94	95	86	
		体力向上に努めている	91	98	96	
	食育	食に関する教育活動を行っている	92	90	92	
信頼される学校	安全管理	児童生徒の安全に気を配っている	98	92	98	バス通学者が8割で通学範囲も広いため、台風や雪等の影響がある場合は、早めの下校や臨時休業の措置を講じ、生徒の安全確保に努めた。 学校HPをリニューアルして、学校情報の積極的な発信に努めた。
	情報提供	学校の状況は通信やHP等で知ることができる	97	90	90	
	PTA・地域との連携	学校はPTAや地域との連携がとれている		90	90	
	職員資質向上	研修が充実し、資質が向上している			87	
教育環境	環境整備	教育環境が充実し、整備されている	99	94	90	タブレットPCを活用したアンケートや課題提出など、環境整備により、業務改善が進んでいる。
	職場環境	学校は働きやすい職場づくりに積極的に取り組んでいる			90	

## 5 自己評価のまとめ(成果・課題・対策等)

部活動では、ソフトボール女子がインターハイ3位に入賞し、新チームでも全国高等学校女子選抜大会への出場権を2年ぶりに獲得した。その他の部活動では、ソフトテニス、弓道、陸上、卓球、水泳、商業クラブ、放送、簿記電卓が上位大会(全国大会・九州大会)へ出場し、生徒の健全育成と学校活性化に好影響を与えた。

また、本校の特色の一つである資格取得においては、卒業生229名に対して114名(49.8%)が1級を三種目以上取得し、生徒の学習意欲や進路実現の土台となっている。

### 【生徒アンケート結果】

- ・資格取得や施設設備の充実、周囲や相手への思いやりについて、生徒の意識が高かった。
- ・授業の理解度や家庭学習習慣について、1割の生徒に対する取り組みの改善が必要である。

### 【保護者アンケート結果】

- ・資格取得や部活動の充実、長商へ入学させたことについて、保護者の評価が高かった。
- ・授業の理解度や家庭学習習慣について、3割の保護者の評価が低く、取り組みの改善が必要である。

## 6 学校関係者評価

- ・専門高校として、将来の社会生活を見据えた容儀の在り方について、生徒自身に意識させる手立てが必要である。
- ・学校が掲げる目標について、まず生徒自身がよく理解し、主体的に実践するように伸ばしていくことで、更なる成果が期待できると思われる。
- ・アンケートを通じて、生徒や保護者の声を集めていることは有益である。高校は通学区域が広域となり、小中学校と比べて保護者との連携は難しい部分もあるが、集約した意見を今後の学校運営に少しでも生かされることを期待する。
- ・広報誌や学校ホームページ等で生徒のはつらつとした姿や頑張る姿がよく分かった。
- ・同窓会でもホームページやSNSを活用している。学校の協力を得て、生徒の取り組みや活躍の画像など、積極的に情報発信していきたい。

## 7 対策等の見直し(学校関係者評価を受けて)

- ・携帯電話への依存が高まるにつれて、家庭学習時間や睡眠時間が確保されない傾向にある。また、SNSに関するトラブルも懸念される。学校と家庭で連携を密にしながら、学校や家庭でのルールと生徒にとって有益な使い方について、入学時やPTA総会、保護者面談等で説明し共有していく。
- ・次年度からの学科改編に伴う新たな取り組みについて、地域と連携しながら本校の新たな特色を創っていく。
- ・新学習指導要領や観点別評価の導入に伴い、授業改善やICT機器の積極的な活用などを推進していく。

※「4 自己評価」の「項目」欄には、領域毎に空欄を設定している。ここには、重点目標に即し、学校独自の「評価項目」並びに「質問内容」を追加することができる。

<参考例> 読書活動、豊かな体験活動、部活動 等

※「4 自己評価」のアンケートは、4段階で回答するようになっているが、そのうち上位2段階を肯定的回答ととらえ、その割合(整数値のみ)を集計する。